

シルバーあみ

第178号 令和5年10月19日発行

公益社団法人阿見町シルバー人材センター
広報委員会

住所 〒300-0331

稲敷郡阿見町阿見4671-1

TEL 029(888)2036

FAX 029(840)2486

URL (ホームページ) <https://webc.sjc.ne.jp/ami/>

会員数 321名(9月30日現在)

男 228名 女 93名

安全就業スローガン

- ・慣れた作業に落とし穴 初心に帰って再確認
- ・大丈夫? 作業後の見直し 再確認を



(阿見町掛馬 鹿島古女子神社)

鹿島古女子神社(かしまこなごじんじゃ)と読みます。

あまり車も通らない奥まった場所(掛馬543)にこの神社があります。神社の入り口方面は、畑が広がり、反対側は木々が生い茂っています。奥に見える拝殿の背後には、本殿がありその後ろには、古女子古墳群が、前方後円墳を含む4基が存在しているが、道路拡張で、1基が喪失したようです。(古墳については、何の表示もありません)

創建は大同年間(806-810)と言われています。・祭神 「鹿島御子神」(かしまみこがみ) 伝承によればこの神は、竹来の「阿弥神社」の子孫にあたるということです。

「古女子」(こなご)に興味を持ち調べましたが、なぜその名前がついたのかは、わかりませんでした。

職員 西川 覚

理事会

○令和5年7月25日(火)令和5年度第2回理事会が開催され、次の議案が審議承認されました。

- 1 正会員入会の承認について
- 2 専門委員会委員の選任について
- 3 専門委員会委員の配置変更について
- 4 専門委員会組織体制について
- 5 衛生委員会規程の改定について

○令和5年9月25日(月)令和5年度第3回理事会が開催され、次の議案が審議承認されました。

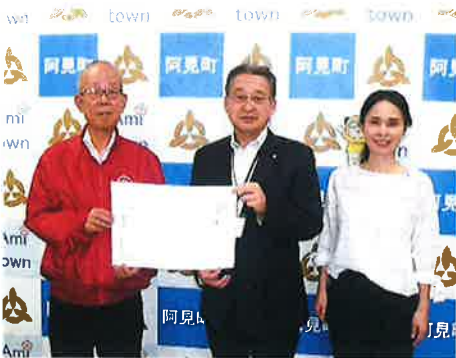
- 1 正会員入会の承認について
- 2 全シ協、県シ連の定時総会決議における町への要請行動について
- 3 最低賃金に伴う単価の改定案について
- 4 インボイス制度適用に伴う事務費率について
- 5 規程の改定等について
- 6 被表彰者について

事業推進本部

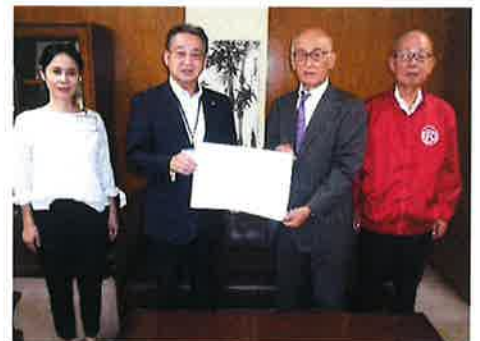
○令和5年8月28日(月)に事業推進本部会議が開催されました。

- 1 「さわやかフェア 2023」の開催、参加(案)について
- 2 女性役員等による会員拡大意見交換会の開催(9/15)について
- 3 公共施設等関連業務における会員の配置状況(就業年数)について
- 4 熱中症警戒アラート発令時における就業について
- 5 最低賃金の改定報道について
- 6 いばらきシルバーの交通安全情報について
- 7 サイバー犯罪の現状と被害防止対策講座について

全シ協、県シ連の定時総会決議における町への要請行動について



毎年、全シ協、県シ連における定時総会時に決議を行い、全国的規模にて各拠点センターから市町村長あてに決議文による要請を行っているものです。今年度は、10/5(木)午後1時30分～、当センターから町当局(阿見町長、阿見町議会議長)あてにシルバー



事業における要請行動を行いました。立会者は、副理事長、事務局長、小泉次長で、役場側は、町長(理事長)、議長、高齢福祉課長でした。

県南県西女性役員意見交換会

○令和5年9月15日（金）13時より、阿見町総合保健福祉会館にて開催されました。

- 1 アンケート結果報告
- 2 意見交換会
 - ・テーマ1「女性会員が馴染みやすい、意欲が高まるような仕事について」
 - ・テーマ2「会員拡大（特に女性会員）に有効な取り組みについて」



- ① アンケート結果を元に、各テーブル毎での話し合い
 - ② 各SC代表者意見発表
 - ③ 自由討議
- 3 「令和5年度 女性会員拡大推進大会並びに女性部会等活動内容紹介・作品等展示会」開催のご案内
日時：令和5年11月7日（火）13:00～16:00
会場：セキショウ・ウェルビーイング福祉会館1F
「コミュニティーホール」「ギャラリースペース」

県シ連技能講習

○令和5年8月8日（火）から10日（木）の3日間をかけて県シ連主催による「施設管理スタッフ講習」（施設管理の心得、ワード・エクセル基本操作、応用など）が吉原交流センターにて行われました。

受講者数は、当センターからの4名を含め各センターから合わせて11名が参加しました。
松本副理事長が開講挨拶と閉講挨拶を行いました。



（講習会風景）

技能講習を受けて～感想

内容は、「ビジネスのマナーとルール」、「パソコン基礎」です。

県シ連で、手配していただいた講師の方と、2人のスタッフも含め3名で対応していただきました。とてもわかりやすく、また、優しく、緊張もとけ、安心して教えていただきました。

暑い日でしたが、休憩も小まめにあり、体にムリなく3日間通うことができました。

参加者には、県北からの人もいましたが、みなさん明るく真剣で、笑顔の3日間でした。

技能講習のあと早速、シルバー人材センターの入会説明会と面接を受け、会員として登録しました。

会員 仲川 時子

衛生委員会の設置について

労働者派遣事業の事業所として労働安全衛生法の規定に基づき、常時使用する労働者が50人以上の事業場に該当する場合は、衛生委員会を設けなければならないこととなっています。会員等の衛生に関する重要事項を調査・審議し、業務の円滑な運営を図ることを目的に6月に設置いたしました。7月から毎月1回以上の開催で、「派遣会員の就業状況」「熱中症の予防について」「高齢者の安全と健康確保について」などを議題とし、委員からは、多くの意見が出されました。

衛生委員会名簿

総括衛生管理者	小野寺 一郎	事務局長
産 業 医	小林 和裕	あみ小林クリニック院長
委 員	松本 康雄	派遣会員
〃	吉澤 昭雄	〃
〃	山西 哲也	〃
〃	山崎 美代子	事務局職員
兼 衛生管理者	小野寺 一郎	事務局長
※派遣元責任者	小泉 利弘	事務局次長

(任期：令和5年6月～2年間)



(衛生委員会のみなさん)

安全委員会



(安全委員会のみなさん)

7月31日(月)に安全委員会を開催し、令和4年度の活動報告と令和5年度の活動計画について協議しました。

スタートとして、自動車安全運転講習会を9月7日(木)と9月21日(木)に実施しました。

また、今年度の安全就業パトロールは、委員長と事務局で場所と実施時期について、後日お知らせいたします。

ご協力の程よろしく申し上げます。

自動車安全運転講習会に参加して

私は現在、給食センターにてドライバーとして、保育所、小中学校への給食の配送業務をしています。業務に当たり、先輩方から安全に関する注意点などの指導をいただきました。センターに勤務して改めて安全運転の大切さを学びました。

又、今回、茨城県自動車学校土浦校にて、実技講習を受けさせていただきました。

講習終了後、担当の女性教官の方から総評として、車を発進する際に、運転席やバックミラー等の調整、安全の確認がなされていないなどの指摘を受けました。今後講習で学んだことを実際の業務に生かし安全ルールを遵守して、健康で安全な職場造りに貢献したいです。

今回の講習は有意義でした。安全運転に関する意識が一層高まりました。

会員 高橋 成一



(自動車安全運転実習)

ボランティア委員会

7月3日(月)にボランティア委員会を開催しました。その際、年間計画を立て、7月24日(月)に吉原交流センター周辺の美化活動（ゴミ拾い、除草、清掃など）を実施しました。

午前8時～約1時間実施、参加者は19名でした。今後の予定としては、10月30日(月)に予科練平和記念館敷地の除草作業と2月頃に中央緑地公園及び阿見小学校剪定作業（植木班）、3月には、町主催霞ヶ浦清掃作業を予定しています。

それぞれの作業前には文書でお知らせしますので届いた時にはご協力よろしくお願ひいたします。



(吉原交流センターにて)

ボランティア活動に参加して

このほど会員になって初めてボランティア活動に参加しました。ボランティア活動には興味がありましたので良い機会と思い参加を希望したのが今回の吉原交流センターのトラック内除草作業です。夏真っ盛りの快晴の中、長袖、長ズボンの格好で、帽子そしてマスク着用のため、参加した会員の方々と共に大汗をかかせてもらいました。固い土のトラック内の鎌での除草作業は、考えていたより難しく自分の作業スピードは上がりません。そんな中、近くで作業する女性会員の方の作業の速さに気づき、観察すると鎌の使い方が私とはずいぶん違っていました。そのやり方を真似て作業したところ、作業は楽になりスピードも上げることが出来た事、私にとっては良い収穫となりました。作業も慣れてきたところで終了の合図です。作業予定の1時間は多少超過していましたが、何とか暑さにも負けず無事に終わることが出来ました。途中の休憩では、木陰で冷たいお茶を飲み、他の会員の方と日ごろの仕事への係わりなどの話が出来、多少の交流が図れたかと思ひます。

初めて参加し良い経験をさせていただきましたが、次回は活動しやすい季節での参加を希望したいと思います。参加された皆さん、暑くて大変でしたが本当にお疲れ様でした。

会員 昆野 正徳

安全運転表彰について

8/7(月)関東管区警察局・関東安全運転管理者協議会連合会長より、センター事務局が「無事故無違反チャレンジ安管いばらき2022」(7/1～10/31)へチームとして、チャレンジし、その成果が評価され、優良事業所達成チームとして、関東管区表彰をいただきました。

また、茨城県牛久警察署長・牛久地区安全運転管理者協議会会長より、センター職員の小泉事務局次長が「優良安全運転管理者表彰」、小野寺事務局長、同じく職員の倉持幸枝、白鳥則子が、安全運転手（無事故無違反）が評価され、「優良運転者表彰」をいただきました。今後も引き続き、「安全運転」を心がけて、「交通事故防止」、「交通安全意識の普及啓発」に努めたいと考えております。



会員の広場 《ふるさと自慢》

私は平成30年3月にシルバー会員になり、福祉センター「まほろば」で入浴等受付業務等を行った後、現在は「かすみ公民館」で夜間受付業務に従事しています。

私、山本哲生は、紀伊国熊野地方の和歌山県新宮市で昭和24年に生まれました。

「**父母なくて 友も少なき熊野地は 遠くなりけり 五十五の歳月**」(哲生)

ふるさとを離れて、もう55年にもなりました。郷愁がつのるばかりです。

さて、紀伊半島の南端熊野川河口に位置する新宮市は、温暖で高温多雨な気候風土により、豊かな水と樹林に恵まれ、吉野熊野国立公園に指定されています。古くから自然崇拝に根ざす『熊野信仰』が受け継がれていて、熊野速玉大社、熊野本宮大社、熊野那智大社などの聖地と、熊野古道は、2004年に『紀伊山地の霊場と参詣道』として世界遺産に登録されました。多くの世界遺産が市民生活と融合するように点在していて、神代と現代、神域と俗界がモザイクのように織り重なっています。熊野三山と弘法大師崇拝等による神仏習合の文化と、風光明媚な環境に恵まれてか、市民は親切で人なつっこく温かな方々ばかりです。



熊野速玉大社

「古事記」「日本書紀」には、今から約2,200年前(弥生時代)初代神武天皇の東征の時に、三本足の八咫鳥(やたがらす)が、熊野から大和(奈良県)まで道案内をしたとの記述があります。

八咫鳥(やたがらす)は日本サッカー協会の公式エンブレムとなっており、目にした方も多いと思います。



八咫鳥(やたがらす)



神武天皇

ほぼ同じころ、中国秦王朝の始皇帝の命により、不老不死の霊

薬を求めて徐福(じょふく)が新宮に渡来したとの伝承もあります。また平安時代から鎌倉時代にかけては、上皇や貴族の間で熊野詣が盛んに行われ、平清盛も詣でたとの史実も有ります。新宮は熊野速玉大社の門前町、水野37,000石の城下町として栄え、現在は製材業が盛んです。

紀州みかん、南高うめ、さんま寿司、めはり寿司、鯨やシビ(ビンナガマグロ)の刺身、茶がゆ(オカイサン)、サンマの丸干し、ゴンドウ鯨の干物等が名物です。

高菜の漬物でおにぎりを巻くだけのめはり寿司は、山仕事や農作業のお弁当として食され、日本最古のファーストフードとも言われています。

新宮出身の著名人には、童謡作詞家の東くめ(雪やコンコン、ハトポッコ)、作家の佐藤春夫(「あわれ秋風よ……さんま苦いかしょっぱいか」)、芥川賞作家の中上健次、競馬



めはり寿司

を題材にした漫画「優駿の門」の作者であるやまさき拓味は、私の高校時代の同級生で大親友の一人です。

新宮時代の思い出は、三角ベースや熊野川での遊泳、中学・高校の6年間柔道に打込んだこと。更には世界遺産神倉神社のお燈祭り（白装束に荒縄を締めた約2,000人の男子が、御神火を移した松明を持ち、神倉山山頂から538段の急峻な石段を駆け下りる）に何回も参加したことです。



昭和43年4月、親族の見送りを受けて夜行列車に揺られ上京しました。

東京で苦労したことは、ザ行が無くて敬語が少ない新宮弁を標準語に直すことでした。自転車は「じてこ」、壊れるは「もじける」なので、「じてこもじけた」は「自転車が壊れた」となります。

「紀州熊野の出身者」との誇りを持って、首都東京の治安維持の職務に精励したことに対して、今春叙勲の栄誉を賜りました。親孝行はできませんでしたが、草葉の陰で父母が喜んでいると思います。

今や40年間住んでいる阿見町が第二のふるさととなりました。町民農園での家庭菜園、趣味の吟詠、剣舞、居合道、健康太極拳、文化・芸術ボランティア等、充実した毎日を過ごしています。来年は後期高齢者。自分自身の健康管理に留意し、余生を送って行きたいと思っている今日この頃です。

会員 山本 哲生

一口メモ

(噛むことと唾液について)

食事の際、よく噛みなさいといわれます。

なぜよいのでしょうか？何回も噛むと唾液が出てきます。

その唾液は、消化酵素を含む消火液で味を感じやすくしたり、胃腸の働きをよくします。

口の中の傷を治したり、歯の汚れを取り除く働きがあります。

又噛むことにより歯が強くなり、虫歯になりにくくします。

ストレスも半減するそうです。

年齢とともに、歯の本数も減ってきます。(80:20、平均80歳で20本残っているのが理想)硬い物も噛みづらく、唾液腺が塞がり口こなったりすることもあります。舌先で歯茎廻りを5周程なぞるだけでも唾液が出ます。今日から、試してみてくださいはいかがですか。



広報委員 金子 カヲル

※ 会員ひろばの投稿を、お待ちしております。何でも良いです。

●新しい会員の紹介（令和5年7月1日～9月30日）10名

会員番号	氏名	行政区	会員番号	氏名	行政区
1687	倉田 廣康	霞台	1692	菊池 隆成	北
1688	出戸 弘子	西方	1693	薄田 アキノ	曙南
1689	塩澤 大彦	曙南	1694	大津 信裕	二区北
1690	切替 ますみ	島津	1695	仲川 時子	追原
1691	武田 守	上小池	1696	新井 次男	中吉原

9月以降薄暮時に歩行者の死亡事故が急増

9月、10月は前の月に比べて日没時刻が40分以上も早まり、日没後は急速に暗くなります。

薄暮時（17～19時）に歩行者が死亡する交通事故も、日没時刻が早まる9月以降、急増しています。

運転者の方は

- ライトの早めの点灯で、歩行者等に自分の車の接近を知らせましょう。
- ハイビームの積極的な活用で、道路の先まで見通し、歩行者の早期発見に努めましょう。
- **横断歩道は歩行者優先です**。横断しようとしている歩行者等がいるときは、止まって道を譲りましょう。
- ハンドルを握ったら運転に集中し、歩行者や自転車の動きに十分注意しましょう。特に、**発進時や後退時は周囲の安全をよく確認**しましょう。

歩行者の方は

- 歩行者は、道路を横断する際は、横断歩道を利用しましょう。
- 反射材を身につけ、夜間視認性の高い白系の服を着るなど、車の**運転者に自分の存在を知らせる工夫**をしましょう。
- 走行車両直前の横断等、無理な横断は避けましょう。
- 横断する時は、車の運転者に対して手をあげるなど意思を表示し、車が止まるのを確認してから横断しましょう。

※阿見町シルバー人材センターのホームページにアクセスするには、パソコンからは、「<https://webc.sjc.ne.jp/ami/>」です。スマホからは、右のQRコードを、読み取りご利用ください。

